

ふるさと名物応援宣言

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

兵庫県西脇市・多可町

「播州織」

～選ばれた環境と風土が育んだ技術と文化～

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



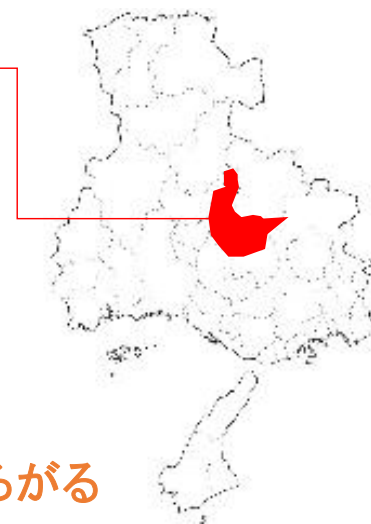
ふるさと名物
Furusato Meibutsu



播州織が生まれるところ ～地域のプロフィール～

兵庫県西脇市・多可町

西脇市と多可町は、兵庫県のほぼ中央部に位置しており、中国山地の東南端から播磨平野に接する地点にあります。北端にある三国岳を源とし、両市町を貫流する**杉原川をはじめ、加古川、野間川などの河川が流れ、緑と水に恵まれた自然豊かな地域**です。8世紀に編纂された「播磨国風土記」には、両市町の大部分の区域は托賀郡（たかのこおり）と記されており、明治時代以降も多可郡に所属し、地理的・歴史的に深いつながりを持っています。また、現在は「北はりま定住自立圏」を形成し、**自治体の枠組みを越えた広域連携に取り組んでいます。**



西脇市

東経135度北緯35度が交差する
日本のへそ

「日本のへそ」として知られ、経緯度交差点標柱や美術館、科学館がある「日本へそ公園」には多くの人が訪れます。また、豊かな風土や自然の中で育てられた最高級の和牛ブランド「黒田庄和牛」や、地場産業の「播州釣針」、特に伝統工芸品である「播州毛鉤」も有名です。



日本へそ公園



播州毛鉤



黒田庄和牛



敬老の日発祥の石碑



山田錦と妙見山



伝統の杉原紙

私たちのふるさと名物「播州織」



播州織とは

兵庫県の北播磨地域を中心に製造される、200年以上の歴史を持つ綿織物です。糸を先に染めてから織る「先染め」が特長で、染色した糸の配置を変えることでストライプやチェックなど様々な柄をつくります。

国産の綿織物の約2割、先染綿織物に限ると約7割を占めています。



西脇市と多可町が織物産地として発展してきた背景

播州織は、江戸時代寛政年間に京都西陣から織物の技術を導入したのが起源と伝えられています。両市町には**染色に不可欠となる良質で豊富な水資源**があり、織物業が発展する基盤が整っていたといえます。

明治時代後期には家内工業から工場生産へと移行し、生産力が急激に増加しました。また、分業による量産体制をいち早く確立したことから、基幹産業として発展を遂げました。その後、都市部での消費拡大に伴い「播州織」の名は全国に広がりました。昭和に入ると、新製品の開発やアメリカ市場の開拓などの販路拡大により空前の好況時期を迎えました。

播州織の繁栄は、地域経済を潤すだけでなく、**多彩な文化を育むなど両市町の発展の礎**となりました。また、西脇市に産元商社、多可町に機屋が多いことから、両市町の地場産業として播州織が成り立っているといえます。

市場環境の変化により生産数量は減少していますが、両市町では産地ブランドの確立や多様な市場ニーズに対応する生産体制の構築などに積極的に取り組み、ファッション・テキスタイルの最新スタイルを発信できる創造性豊かな産地づくりに努めています。



街に立ち並ぶ織物工場



集団就職の女子労働者

播州織の生地の特長



先染手法 先に糸を染めて織るから、色鮮やか、自然な風合い

先染織物という名のとおり、播州織は先に糸を染め、染め上がった糸で柄を織ります。そのため、後染織物では再現できない奥行きのある色、豊かな色彩、優れた質感が特長の上質な生地が出来上がります。

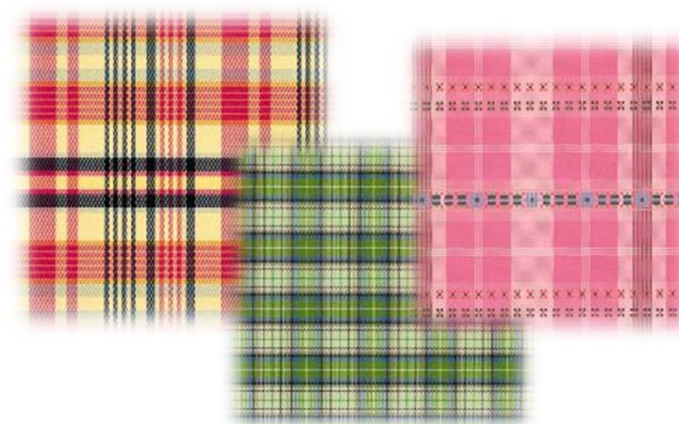


応用性 さまざまな製品に応用できる生地

先染糸で織られた生地は丈夫で肌触りが良く、ワンピース、シャツ、ハンカチ、テーブルクロスなど日常生活に必須のアイテムをはじめ、マリエやフォーマルドレスなど現代の幅広いニーズを満たします。

デザイン 縦糸と横糸から成る華やかなギンガムチェック

先染織物は、染色した糸が縦（経）と横（緯）に「組織」という法則に従って織られており、この「糸・縞割・組織・密度」を組み合わせることによって、チェックやストライプなどのさまざまな柄を生み出します。ピーク時には高級ギンガムとしてアメリカなど海外に多く輸出されました。現在、輸出量は減少していますが、国内のアパレルブランドへも提供しており、シャツを中心に私たちの身近な製品に使われています。



生地産地から広がる播州織の可能性



長年培ったノウハウを生かした新しい生地作り

さまざまなオリジナルテキスタイルブランドが誕生しています。

縦糸と横糸を組み合わせで丁寧に織られる播州織は作り手によってさまざまな表情に変化します。歴史ある播州織の産元商社が、自社ブランドとして独自の生地や商品の企画・開発を行っています。消費者のニーズを敏感に感じ取り、商品の完成形を見据えた生地を作る。生地産地だからこそ、一貫したものづくりによる上質な商品が生まれるのです。



■ 伝統に新しい風を吹き込む

近年、西脇市に移り住んだデザイナーの方々が、伝統の技術にこれまでにない発想を加えた、新しい播州織を発信しています。デザイナーが生地産地で生地活動することで、職人と近い距離で関わることで、生地づくりを行う工場に頻繁に足を運ぶことができます。職人との交流を通じて、素材などすべてにこだわった納得の商品が出来上がるのです。産地発にこだわり、丁寧につくられた商品は、播州織の新たな魅力として人気を集めています。



播州織から生まれる商品



播州織の生地は、有名ブランドの製品のほか、さまざまな商品に応用されます。

シャツ

播州織の代表格。鮮やかな色合いと優れた肌触りが特長です。



ストール

先染め糸の美しさを引き出す、やわらかな質感のストール。



ハンカチ

華やかな柄が魅力。しっかりした生地なので、普段使いにぴったり。



かばん

素材の良さを生かした、軽くて丈夫なかばん。



蝶ネクタイ

ひと手間を加えて作る自分だけのオリジナル蝶ネクタイ。



テーブルクロス

高級感のあるテーブルクロスで素敵な空間を演出します。



オリジナル小物

【のし袋】ハンカチとしても使えるアイデア商品です。



【扇子】独特の風合いが、夏の暮らしに涼と彩りを添えます。



播州織が育んだまち



播州織の発展とともに、まちなみが生まれ、さまざまなイベントが行われるようになりました。



のこぎり屋根の織物工場を改装し、
住時の雰囲気を残すアトリエショップ
「播州織工房館」

西脇の中心市街地にある建物



糸商を家業に財を成した
国登録有形文化財の
「旧来住家住宅」



オーダーシャツなどを取り扱
う「西脇情報未来館21」

播州織の影響はグルメにも



織物工場で働く女性の口に合うように
作られた、甘口のスープが特長の「播
州ラーメン」は両市町のソウルフード

播州織に関するイベント

播州織総合素材展の開催



産地の企画・提案力の向上と、新規
顧客の開拓を行います。

播州織ファッションショー



へその西脇
織物まつり

まつりやイベントで、地元の高校生が自ら手掛けた衣装でファッションショーを行っています。若い感性で作られるステージがイベントを盛り上げます。



多可町ふる
さと産業展

こんなふうに播州織を応援しています！～両市町の取組～



両市町の取組

公益財団法人北播磨地場産業開発機構への支援

公益財団法人北播磨地場産業開発機構は、兵庫県北播磨地域の地場産業の育成と支援を行い地域経済の活性化を図るため、周辺の4市1町と業種団体によって構成。補助金による支出を通じて、播州織の地域ブランドの取得や、新商品開発支援、人材育成などの取組をサポートしています。



国産表示制度認証取得事業補助金制度

一般社団法人日本ファッション産業協議会が定める「安全・安心・コンプライアンス企業認証」申請に要する経費の一部を助成。認証を受けることで付加価値の向上を図れるため、積極的に申請できるよう支援しています。



西脇市の取組

西脇ファッション都市構想の推進

播州織の活性化のため、上記の国産表示制度認証取得の補助金のほか、構想を策定し、デザイナー育成支援などを行っています。

産地のブランド力向上を目指した ものづくり・あきない経営革新支援事業

新商品を開発する際の支援や、販路拡大につながる展示会出展の助成などを行っています。

多可町の取組

播州織販売拠点の整備

「まちの駅たか」の店舗内に播州織生地および製品を販売する特設ブースを設け、播州織を身近に購入できる拠点を整備します。多可町ではこれまで、播州織の製品を購入できる場所が限られていたため、新たに整備し普及に努めます。

多可町商工会と連携しての播州織普及支援

播州織事業者の展示会等への出展支援、商品ブランド化や経営力向上・販路拡大に向けた支援を行います。